

学校教育目標

かしこく やさしく たくましく

(知) よく考え創り出す子 (徳) やさしく思いやる子 (体) たくましくがんばる子

[小学校学習指導要領前文]

一人一人の児童が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められる。

育成を目指す資質・能力

挑戦する力

Challenge

失敗を恐れずにチャレンジし、進んで学ぶ子

～自分を好きになる～

関わり合う力

Communication

個性を認め、支え合い、コミュニケーションできる子

～人を大切にできる心をもつ～

創造する力

Create

挑戦と関わり合うことで得た学びを生かし、行動できる子

～自分のために、みんなのために～

相手意識 思いやり 伝える力 傾聴 相談する力 協働

年度の重点教育目標

あなたも わたしも みんな たいせつ

～挑戦する力 (Challenge) ・関わり合う力 (Communication) ・創造する力 (Create) の育成～

「みんな」と「自分」を大切にすることは、「関わり合う」ことにつながります。この「関わり合い」をキーワードに、向陵っ子(教職員も)が「元気」に活動する姿をイメージし、あらゆる教育活動を創意工夫していきます。

学校経営の重点

- (1) 子どもを主語に、「安全・安心で元気な学校」を目指す学校運営
- (2) 教育目標の具現化を目指す教育課程の編成・実施・検証・改善
- (3) 主体的な学びや協働的な学びを促進する研修活動
- (4) 学校の活性化を図る学校職員人事評価
- (5) 「関わり合い」を大切にしたい学年・学級経営の充実
- (6) 豊かな心を育む安全・安心な教育環境の整備
- (7) 保護者や地域、関係機関等との連携強化
- (8) 未然防止と迅速で適切な初期対応による危機管理
- (9) 適切で効率的な運用を図る学校事務

目指す学校像

子どもたちが元気に登校し、笑顔で下校できる「安全・安心で元気な学校」

- こ 子どもが主語で、元気に学び合える学校
- う 美しく整った、安全で安心できる学校
- りよ 良好なパートナーシップを築き、信頼される学校
- う Well-being (ウェルビーイング) を高め、学びがい、応援しがい、働きがいのある学校

校種間連携

Anticipation 見通し

Action 行動

家庭や地域との連携・協働

向陵小の合言葉

みんなで元気に、さあいこう!

AARサイクルによる組織運営

Reflection 振り返り

関係機関との連携・協働

教育指導の重点

- (1) 確かな力を育む学習指導
- (2) 一人一人の教育的ニーズに応える特別支援教育
- (3) 自己をより良く導く生徒指導
- (4) 個と集団のよさを実感する特別活動
- (5) 豊かな心を育む道徳教育
- (6) より良い生き方を目指すキャリア教育
- (7) 進んでコミュニケーションを図る素地と基礎を育む外国語教育
- (8) 教科等横断的な視点に立った資質・能力を育む総合的な学習の時間
- (9) 自律的な心身の育成を図る健康・安全教育

目指す教師像

子どものよさや可能性を引き出して伸ばし、協働して高め合う教師

- 子ども一人一人のよさや可能性を引き出し、令和の日本型教育を目指します。
- 「関わり合い」を大切に、挑戦する力・関わり合う力・創造する力を育成します。
- 組織力強化のため、全教職員が常に「安全・安心で元気な学校」づくりを意識し、創意と意欲をもち、協働して学校運営に参画します。
- 教師力向上のための研修を進め、成果を共有して目標達成に向けた教育活動を展開します。
- 教育の成果は、子どもたちの姿で問われます。